

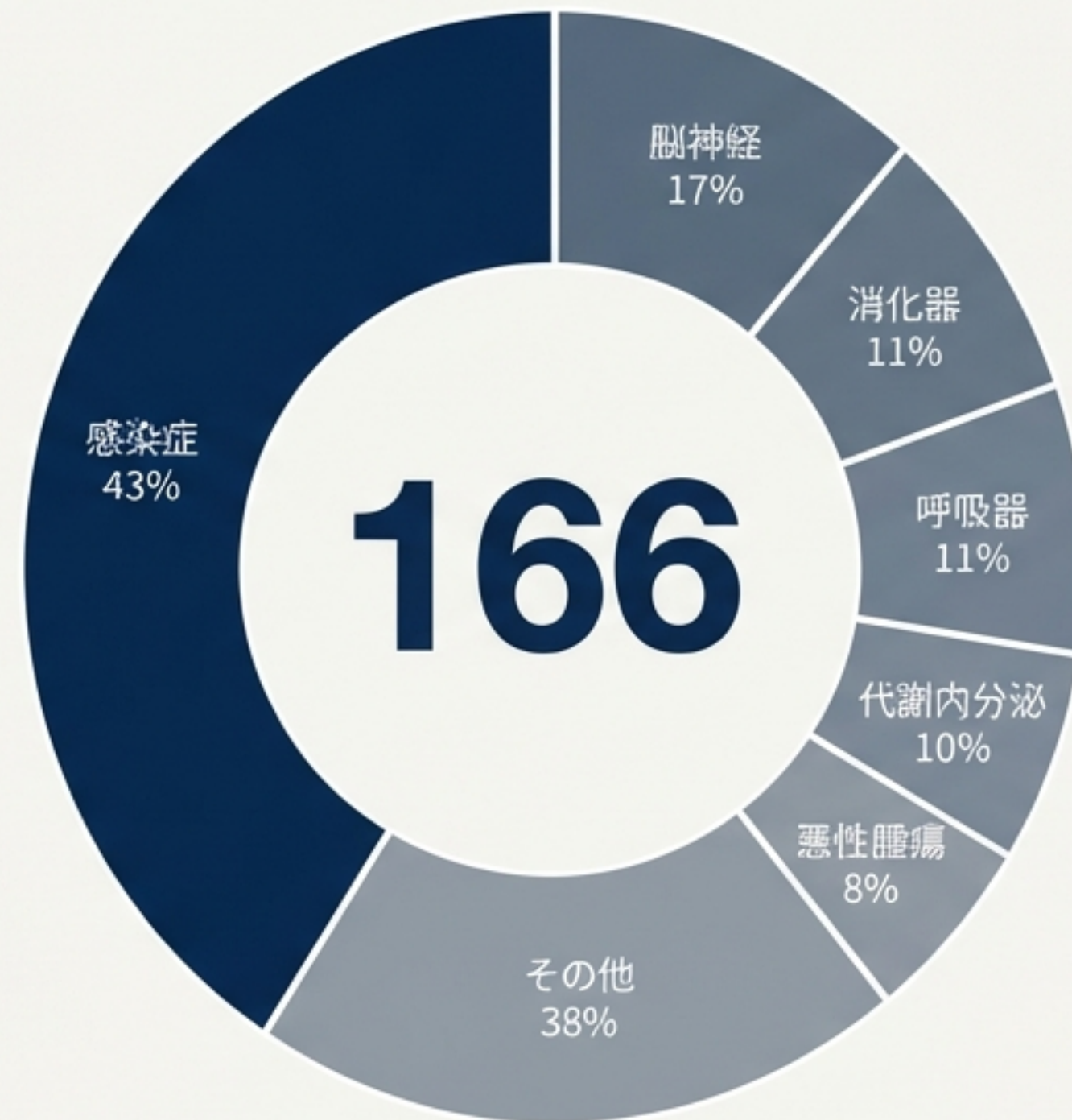
総合診療科専攻医3年目： 臨床と教育の軌跡

市立伊勢総合病院 研修振り返り（2023年4月～9月）

二宮 隆仁

経験症例の全体像：感染症を中心とした166例

感染症 (Infectious Disease):	71
脳神経 (Neurology):	17
消化器 (Gastroenterology):	11
呼吸器 (Respiratory):	11
代謝内分泌 (Metabolic/Endocrine):	10
悪性腫瘍 (Malignancy):	8
その他 (Others):	38
Total (n):	166



感染症が全体の約半数を占める。多岐にわたる疾患群への対応。

外来・救急での葛藤：「こなす」ことと「深める」こと

出来たこと (Done)

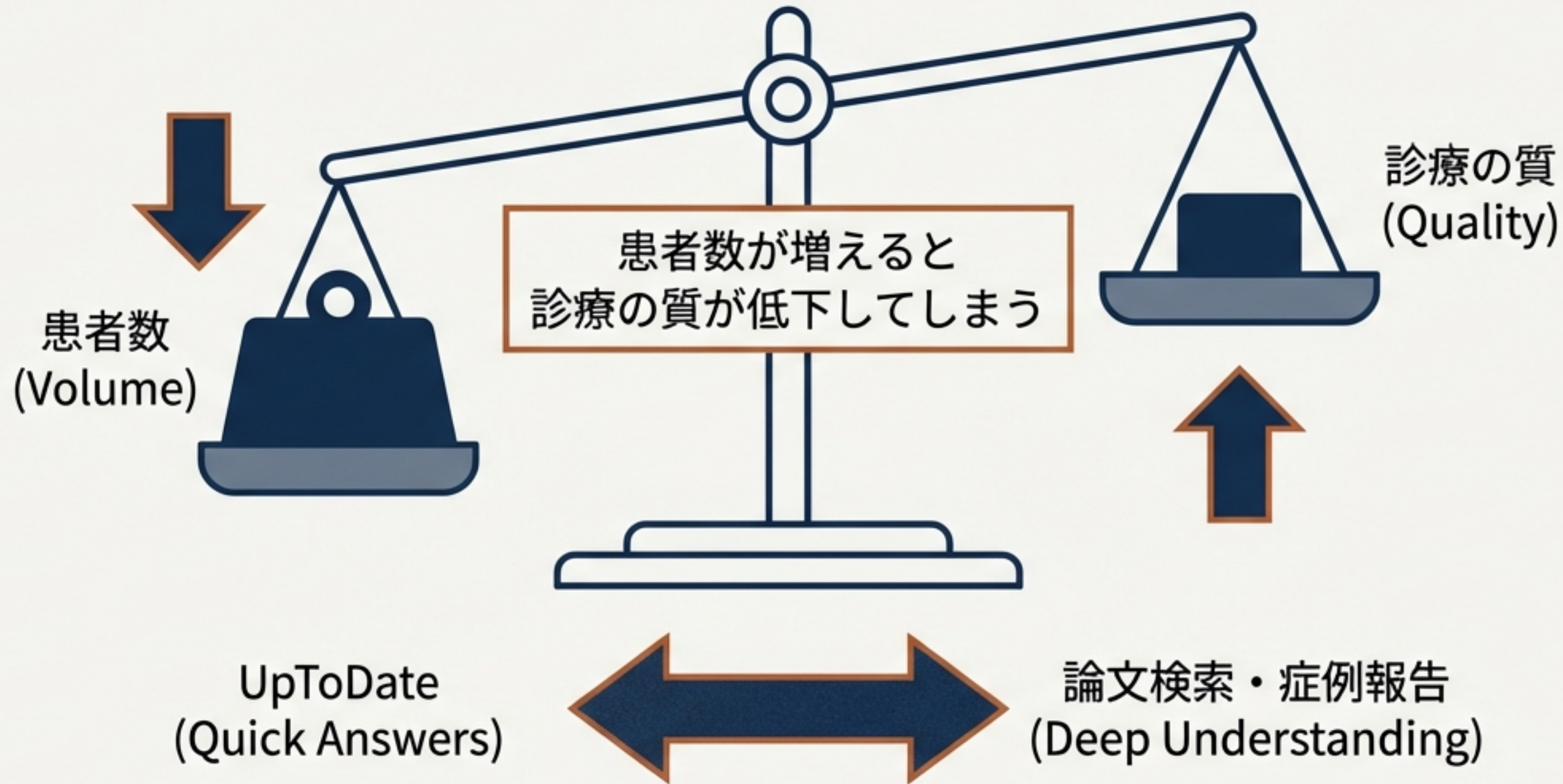
- 直明け外来を回せるようになった
- 重症患者へのABCDアプローチと初期対応
- UpToDate等を用いた即時的な臨床疑問の解決

出来なかったこと (Not Done)

- 4月以降、時間制約による予習不足
- 身体症状症などの深い学習
- 広域抗菌薬への躊躇とグラム染色の活用低下

業務は回せるようになったが、予習や振り返りの時間が不足。
病棟業務含め時間の使い方が課題。

病棟診療の質と量：UpToDateの先へ



緊急度は低いが重要度の高いタスク（論文検索など）を優先順位に組み込む必要がある。

教育活動の実践

- 4/20: ○ 学生向けBLS講習
- 5/15: ● LRCC救急レクチャーお手伝い
- 5/27: ● ICLSインストラクター
- 6/15: ● 急変対応勉強会 (4東/5西病棟)
- 7/01: ● 虎之穴お手伝い (抄録登録)
- 7/03: ● 中学2年生対象 SNSの使い方講座

これらは
『教育』
なのか？

「教育」とは何か：自信の欠如からの脱却

自分ができることを学習者もできるように教えること？
→できないことが多い自分には、教育する自信がない。

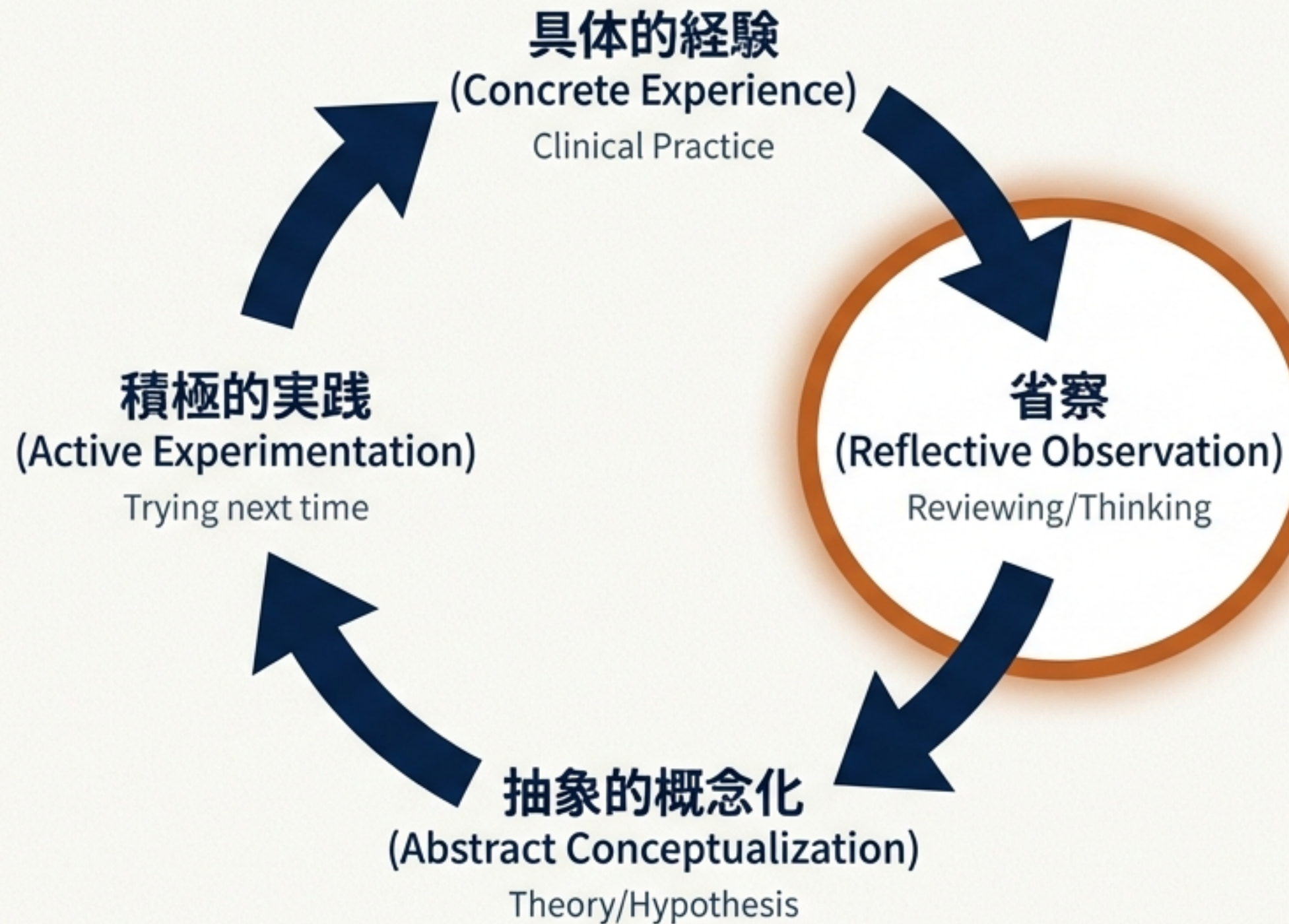
教育【きょういく】

教え育てること。望ましい知識・技能・規範などの学習を促進する**意図的な働きかけ**の諸活動。（広辞苑より）

自分にできることだけを教えるわけではない。

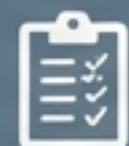
「意図的な働きかけ」がミソ。

コルブの経験学習論：臨床現場における「省察」



経験が伴う臨床現場では、「省察」をやる/させることが重要。

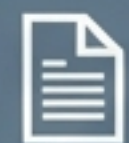
省察と学習の架け橋：「言語化」



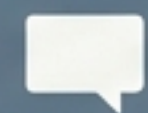
POMA-R / ADL評価



専攻医ポートフォリオ



J-OSLER



朝カンファレンス

言語化は学習における「手段」ということは忘れない。

学び、気づき、忘れるサイクル

言われてみれば、その通り。
スッと入ってくる。

教育的視点
(POMA-R /
食事-ADL-退院先)

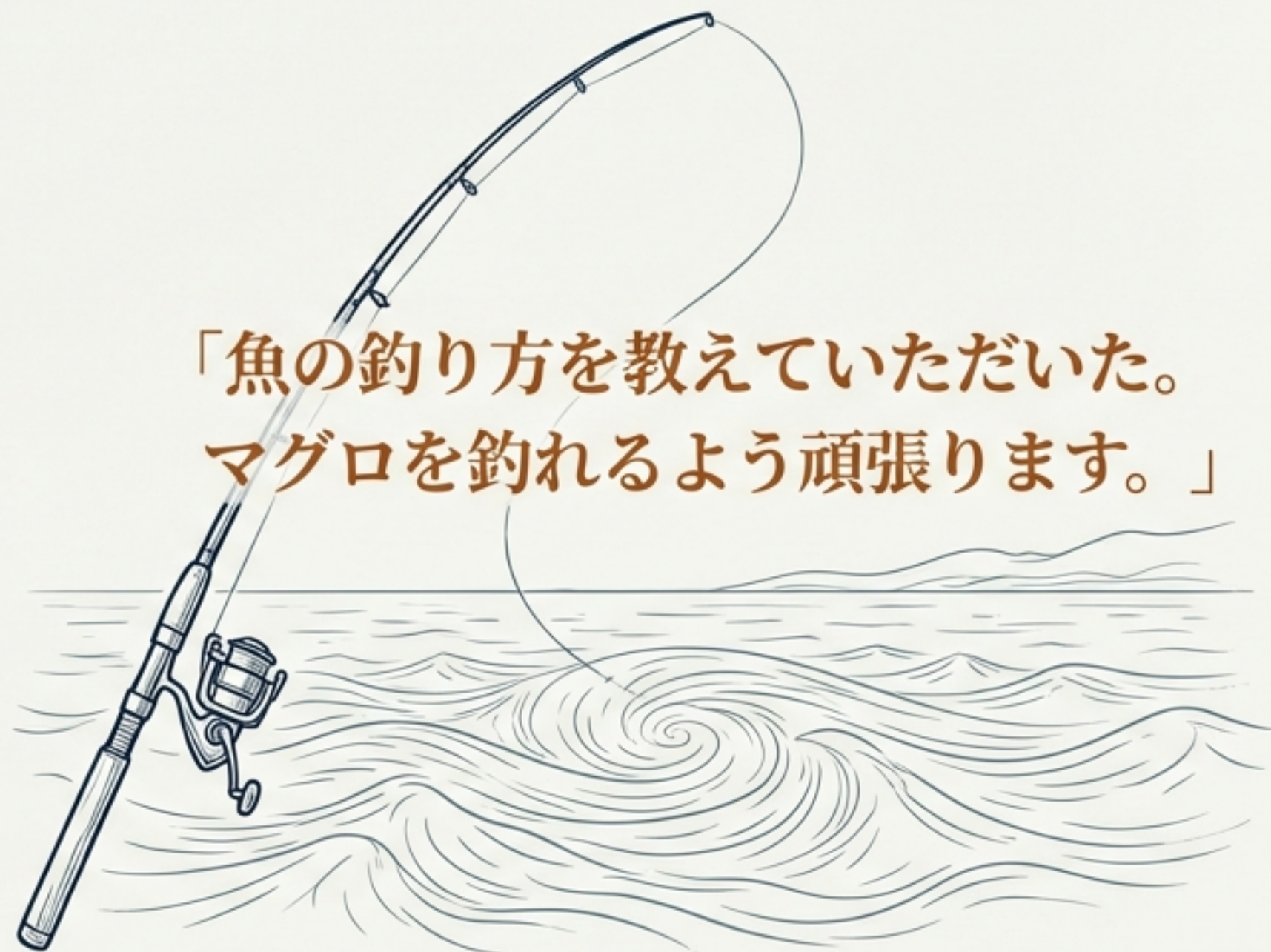
でも言われなければ、
気づかなかった。

そして言われては、
気づいては、
また忘れていく...

次なるステップ：みたきでの目標

- 言語化トレーニングの継続
- 学生・研修医への指導実践
- ポートフォリオを用いた自己学習

「魚の釣り方を教えていただいた。
マグロを釣れるよう頑張ります。」



謝辞

谷崎先生、宮松先生をはじめ、
ご指導いただいた全ての皆様へ

1年間、本当にありがとうございました。